

# 7月中の計画案発表を含めて検討中



統廃合の具体案が発表されるとの  
危惧が広がる中、6月21日、「県立  
高校の統廃合を考える会」は末松教  
育長と緊急の交渉をもちました。参  
加者は高教組4人、全教滋賀3人、  
母親連絡会1でした。「会」は、県  
教委の3つの破綻を指摘し「統廃合  
よりも35人学級を」と要求しました。

3つの破綻とは、子どもが減ると言うが10年間は減らない。財政  
難と言うが、県が生徒に使うお金は全国45位である。小規模校では  
切磋琢磨できないと言うが、小規模校の良さがあちこちで示されてい  
る。以下、やりとりを紹介します。

## 35人学級ならみんな喜ぶ

考える会「統廃合は反対意見が多い、35人学級ならみんな喜ぶ。」

教育長「35人学級、中3までは要求しているが、高校の場合は選択も多く  
分割も進んでおり、いっぺんにはいかないのかなあ。」

考える会「定時制が統合されると経済的な事情で学校に行けなくなる子も出  
てくる。」

教育長「定時制のことは、今、みんなの意見を踏まえて検討している段階、  
まだ、言えない。」

## 学校では話し合っ欲しい

考える会「統廃合問題を校長がタブー視し、教職員がなかなか話せない。風  
評被害を避けるなど行って教職員を黙らせたり、PTAに圧力を  
かけたりする校長もいる。もっと高校生、中学生、地域の人の意見  
を聞くべきだ。」

教育長「職員会議の中でどれだけ話ができるのか、いろいろな事情があり  
難しいが、今後案が出る中で、共通理解・協力体制も必要だし、話  
し合っ欲しい。」

## 案を発表しても意見は聴く

考える会「昨年、県教委が意見を聴く会を開いたことはよかった。そこで出た  
意見を踏まえるなら統廃合の計画案は出せないはずだ。」

教育長「十分踏まえてやっている。今後、案を発表しても意見を聞いていく。  
みなさんから話を聞くという立場は変わらない。押しつけるわけやな  
い。」

考える会「それになら、仮に、具体案が出て、それに反対する意見が多かった  
ら、撤回したり修正したりすることもありますね。」

教育長「.....出来る限り示した案でやっていきたいが、意見も聴く。」

考える会「案が出るのは7月中か。」

室長「それも含めて検討中だ。」

## 89%の市町議会の声を無視するのか

考える会「19議会のうち17議会が意見書をあげている。これをどう見るのか。  
中止もあり得るのではないか。」

教育長「再編の協議はしていく。」

考える会「再編はいいが、統合はどうか聞いています。」

教育長「まあ.....。」

知事向けの署名  
(ピンク色)続行中!



**ストップ高校統廃合** 2011年度速報第3号  
2011/6/22 県立高校の統廃合を考える会  
077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして配布、回覧、また掲示板上に貼るなどして下さい)